



# 2019年3月期 第2四半期決算説明資料

2018/11/21

エスアールジータカミヤ株式会社  
〒530-0011  
大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階

# 会社概要



商号	エスアールジータカミヤ株式会社
設立	1969年6月21日
代表者	代表取締役会長兼社長 高宮一雅
資本金	7億3,109万円
従業員数	連結：1,208名 単体：677名 <small>※2018年9月末時点、臨時従業員を除く</small>
登記本社	大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階
営業拠点	【支店】東北仙台、茨城、東京、新潟、名古屋、大阪、中四国、九州福岡（計8） 【営業所】札幌、盛岡、福島、つくば、鹿島、市原、北陸、福井、長野、静岡、京滋、広島、沖縄（計13） 【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、宮城仙台第二、福島広野、新潟横越、新潟東港、新潟県央、茨城中央、茨城つくば、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川愛川、信州長野、静岡吉田、石川金沢、福井鯖江、東海木曾岬、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、和歌山桃山、兵庫東条、広島志和、香川さぬき（計29）
連結子会社	<国内：7社> (株)イワタ、(株)ヒラマツ、(株)青森アトム、(株)トータル都市整備、(株)ネクステック、(株)キャディアン、(株)ナカヤ機材 <海外：3社> ホリーコリア(株)、ホリーベトナム(有)、DIMENSION-ALL INC.（計10社）
株式上場	2005年06月 JASDAQ証券取引所（注）2008年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました 2007年12月 東京証券取引所市場第二部 2014年12月 東京証券取引所市場第一部指定





## 商号変更

### ロゴマークと社名が変わります

「トランスフォームにより新たな価値を創造し、業界の質的发展を牽引する企業グループを目指す」というビジョンを掲げ、企業グループを名実ともに未来志向で一変していくため、2019年4月より、「株式会社タカミヤ」へと商号を変更し、ロゴマークも刷新することにいたしました。



TAKAMIYA

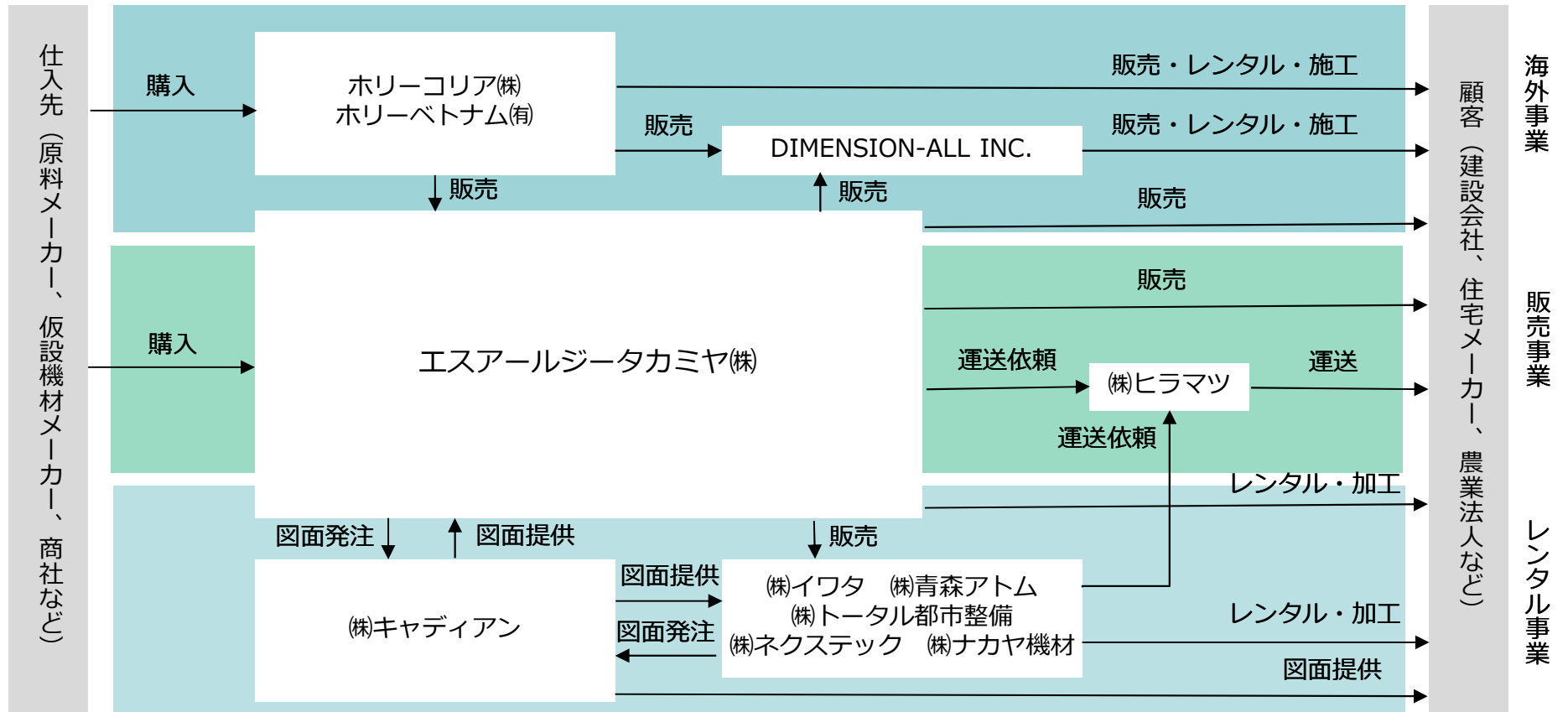


## 沿革

- ・ 1969年 6月 仮設資材の売買を目的として、大阪市東淀川区に(株)新関西を設立。
- ・ 1998年 3月 大阪市北区に仮設図面設計の(有)テクノ工房（現・連結子会社、商号を(株)キャディアンに変更）を設立。
- ・ 2004年 10月 静岡県榛原郡榛原町に(株)ヒラマツ（現・連結子会社、現・静岡県牧之原市）を設立。
- ・ 2005年 6月 (株)ジャスダック証券取引所上場。
- ・ 2007年 12月 (株)東京証券取引所市場第二部上場。
- ・ 2008年 10月 青森県下北郡東通村に仮設機材レンタルの(株)青森アトム（現・連結子会社）を設立。
- ・ 2009年 8月 名古屋市中川区の(株)石島機材製作所(現・(株)トータル都市整備)の全株式を取得し、連結子会社とする。
- ・ 2010年 9月 ホリー(株)の発行済株式の100%を取得。同社及び同社の100%子会社であるホリーコア(株)を連結子会社とする。
- ・ 2013年 8月 ベトナム社会主義共和国にホリーベトナム(有)（現・連結子会社）を設立。
- ・ 2015年 7月 アルミ製のシステム型枠の販売・レンタルのDIMENSION-ALL INC.（フィリピン共和国パシッグ市）を連結子会社とする。
- ・ 2018年 1月 ホリー(株)（連結子会社）を吸収合併。
- ・ 2018年 2月 島根県松江市の(株)ナカヤ機材の全株式を取得し、連結子会社とする。



# 事業系統図





## 1. 連結業績（累計）

連結業績 (単位：百万円)	2019年3月期2Q 予想（修正前）		2019年3月期2Q 予想（10/29修正）		2019年3月期2Q 実績		前期実績 (2018/3期 2Q)		対前年 増減率
		売上高比		売上高比		売上高比		売上高比	
売上高	19,500	-	20,700	-	20,734	-	17,875	-	16.0%
売上総利益	-	-	-	-	5,667	27.3%	5,153	28.8%	10.0%
販管費	-	-	-	-	4,579	22.1%	4,348	24.3%	5.3%
営業利益	900	4.6%	1,050	5.1%	1,087	5.2%	804	4.5%	35.1%
経常利益	780	4.0%	1,080	5.2%	1,121	5.4%	840	4.7%	33.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	393	2.0%	670	3.2%	698	3.4%	608	3.4%	14.9%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	9.17円	-	15.64円	-	16.31円 (15.83円)	-	14.22円 (13.79円)	-	-
一株当たり配当金	4.00円	-	4.00円	-	4.00円	-	4.00円	-	-
減価償却費（CF計算書ベース）	-	-	-	-	2,361	11.4%	2,318	13.0%	1.8%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	-	-	-	-	3,448	16.6%	3,123	17.5%	10.4%
総資本利益率(ROA)	-	-	-	-	2.1%	-	1.6%	-	-
自己資本純利益率(ROE)	-	-	-	-	5.2%	-	4.9%	-	-

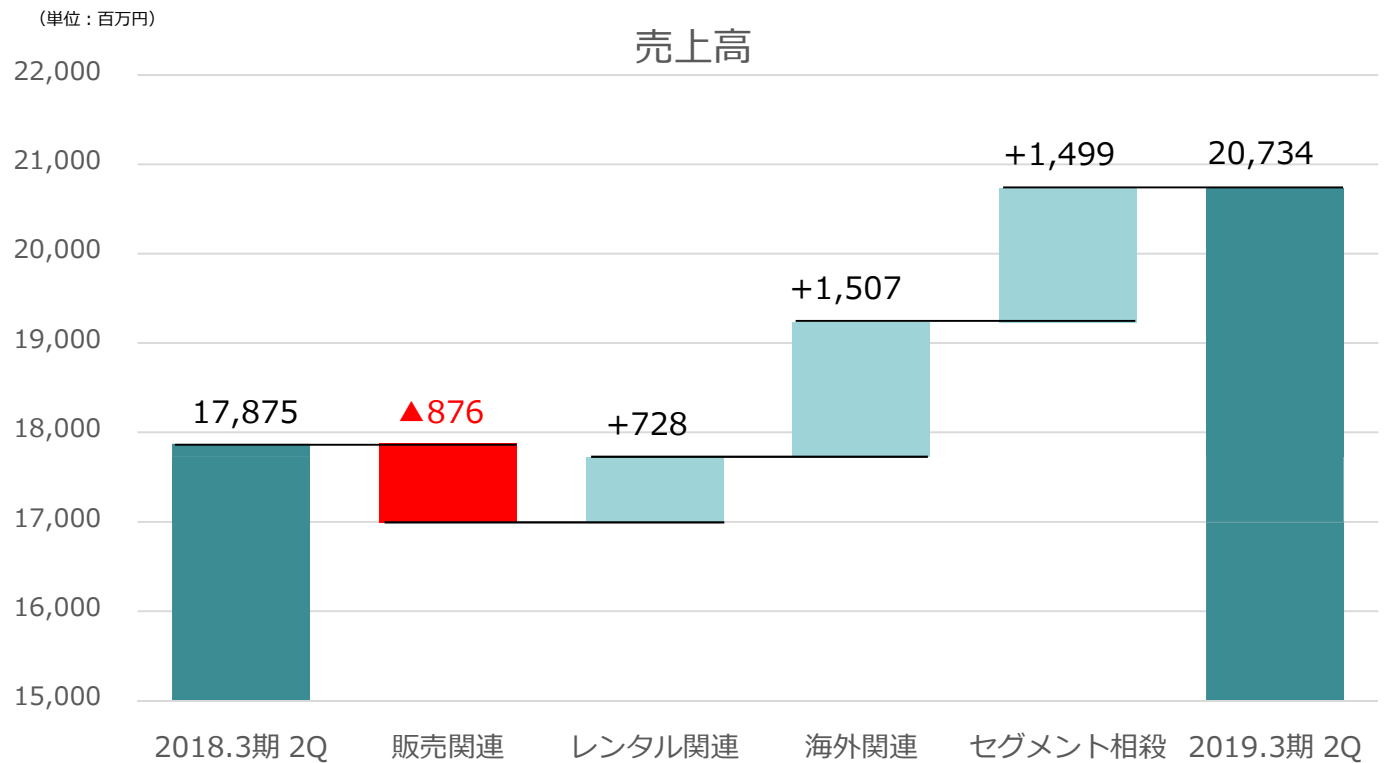


## 2. 対前年同期比較

### 2.1 売上高

#### 2,858百万円の増収

第1四半期同様、販売関連事業におけるセグメント間取引減少の影響を受けましたが、販売、レンタル、海外の各セグメントが順調に推移し増収となりました。



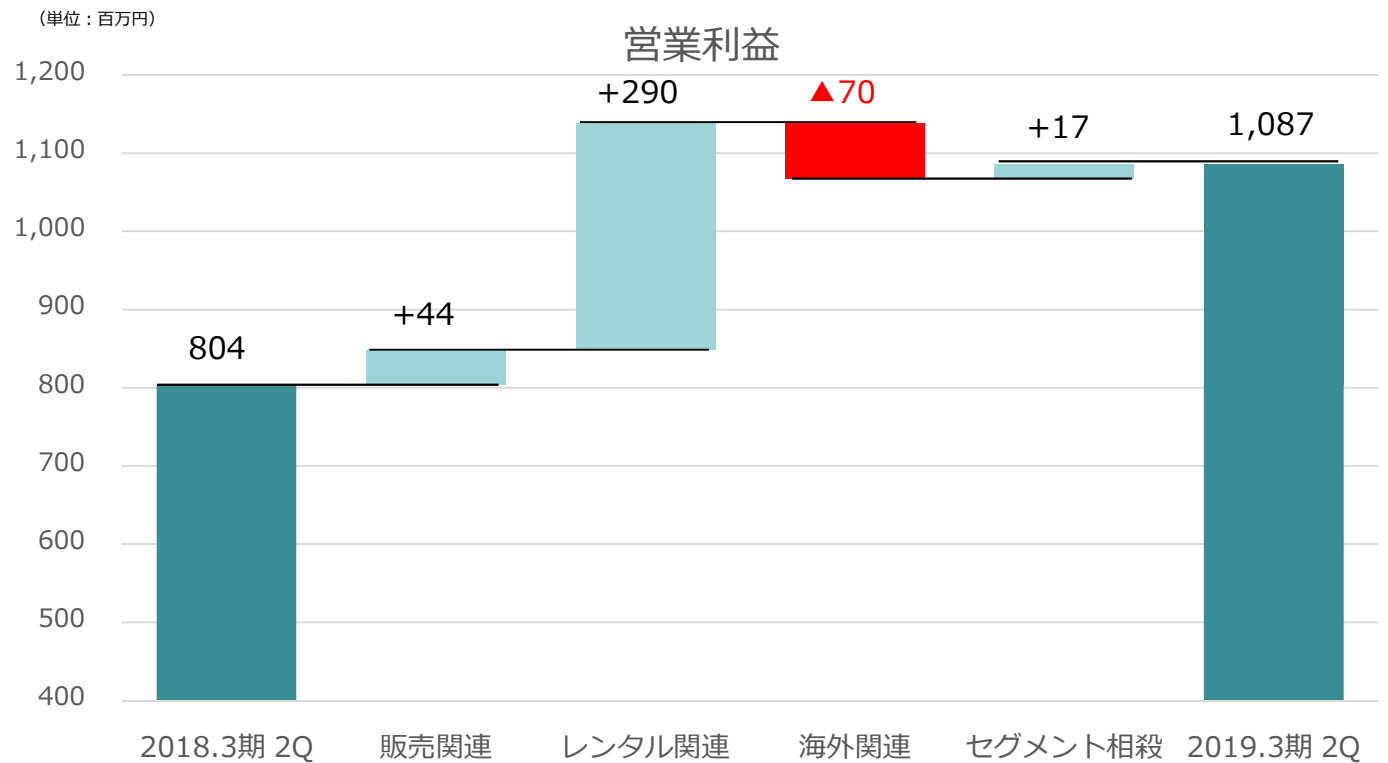


## 2. 対前年同期比較

### 2.2 営業利益

#### 282百万円の増益

海外関連事業では、積極的な機材投資により賃貸資産償却費が増加しましたが、国内の販売が堅調、レンタルでは想定以上の社外出荷量で増益となりました。







### 3. 販売関連事業

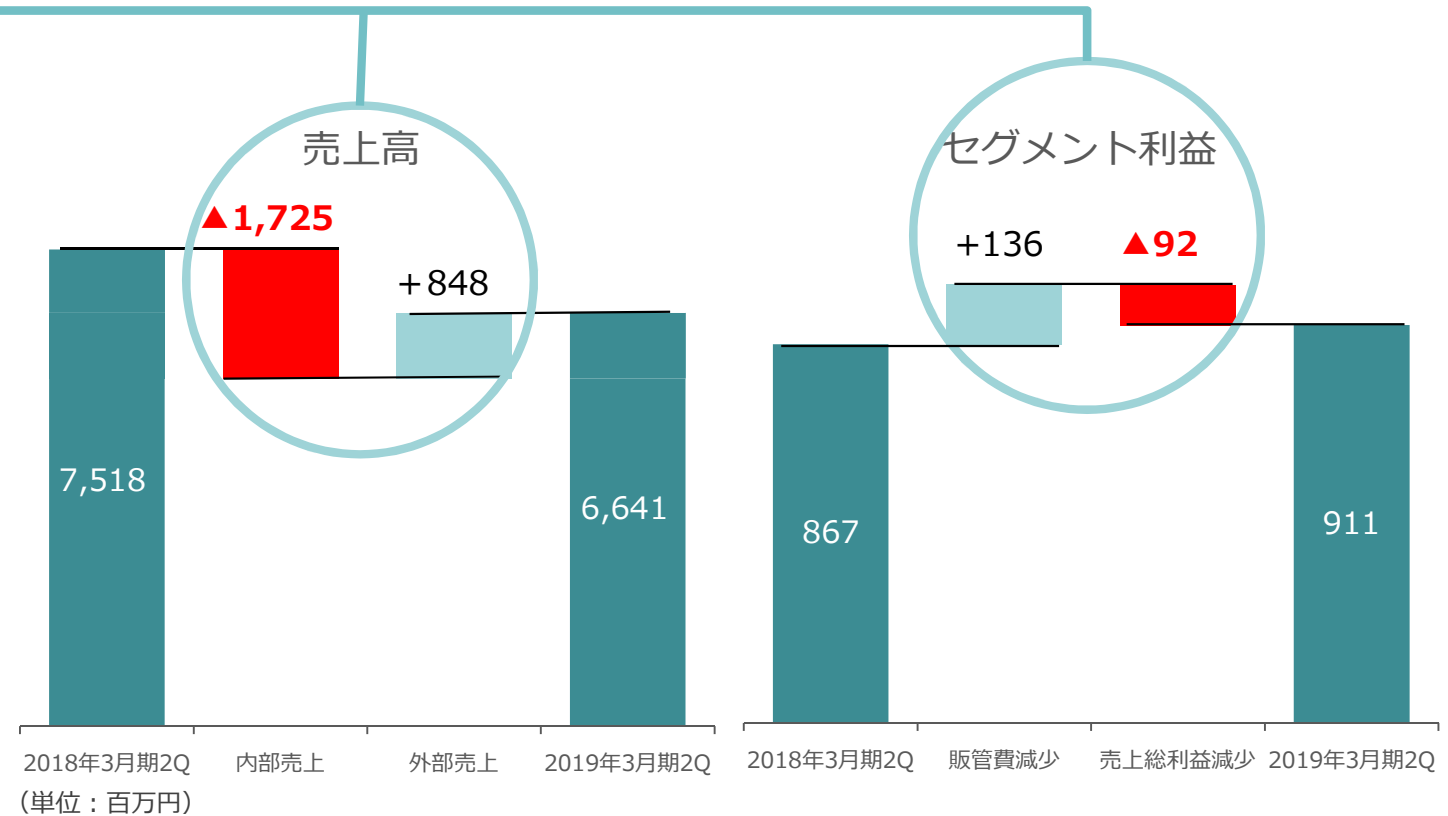
#### 3.1 対前年同期比較

##### 売上高

876百万円の減収。  
第1四半期同様グループ会社であったホリーを吸収合併したことによりセグメント間取引が減少しました。期初よりIqシステム、それに関連する部材の販売が堅調で、外部売上が増加しました。

##### セグメント利益

44百万円の増益。  
外部売上は増収、内部売上が減収、セグメント売上高としては減収しましたが、販管費を抑えグループ統合による効率化が進みセグメント利益は微増となりました。



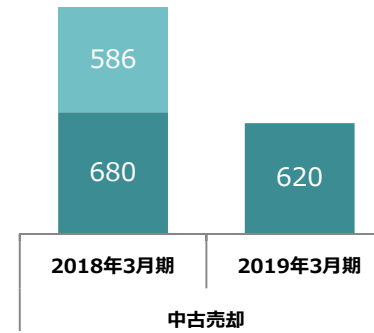
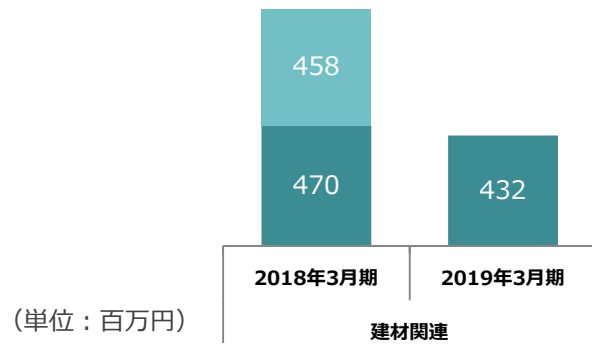
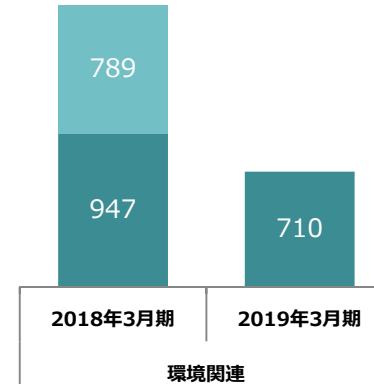
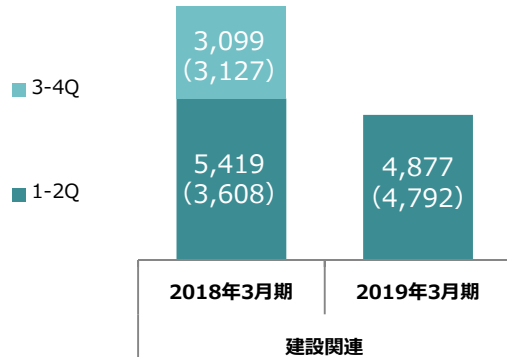
※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です。



# 3. 販売関連事業

## 3.2 分野別売上高

※ ( ) 内は外部販売の数値です。

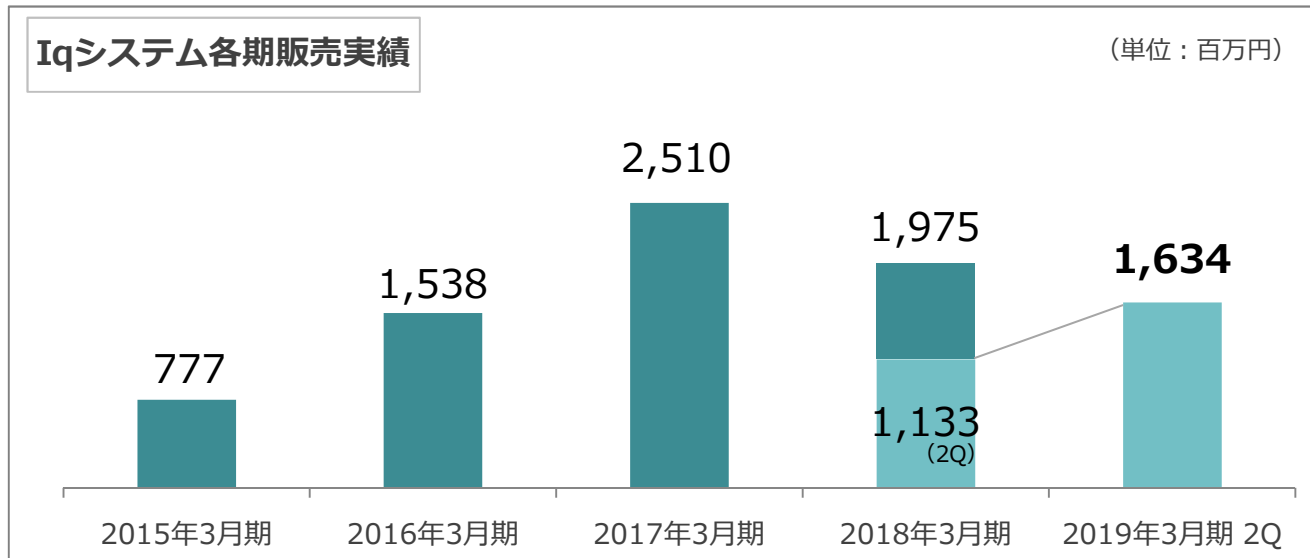




## 3. 販売関連事業

### 3.3 Iqシステム普及状況

次世代足場需要が本格化し、販売戦略が奏功しました。



**Iqシステム販売売上高推移**

(単位：百万円)	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期 2Q
累計販売実績	<b>777</b>	<b>2,316</b>	<b>4,826</b>	<b>6,801</b>	<b>8,436</b>

※集計方法の変更により、数字が変動しています。

**Iqシステム m<sup>2</sup>数 : 476万m<sup>2</sup>**  
(賃貸資産保有 : 276万m<sup>2</sup>  
+ 累計販売実績 : 200万m<sup>2</sup>)  
※Iqシステム支柱長\*÷2×1.8m  
で当社が試算。  
\*当社保有資産+販売実績より算出。



## 4. レンタル関連事業

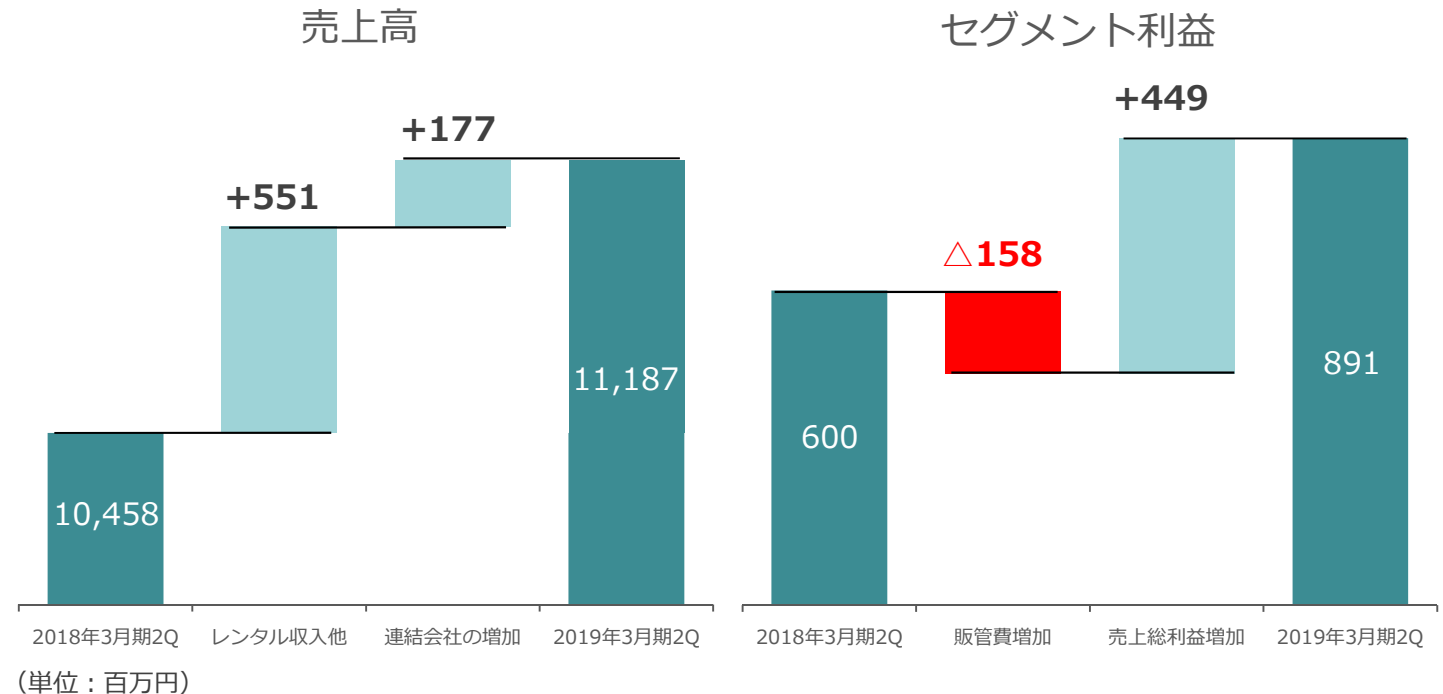
### 4.1 対前年同期比較

#### 売上高

728百万円増収。  
土木関連事業への出荷が堅調、Iqシステムにも牽引され、また建築・土木ともに機材貸出量が前年を上回りレンタル料が増加しました。「ナカヤ機材」をグループ化したことも併せ、増収となりました。

#### セグメント利益

290百万円増益。  
レンタル料の増加、賃貸資産への投資も一巡し賃貸資産償却費が横ばい、増益となりました。



※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です。



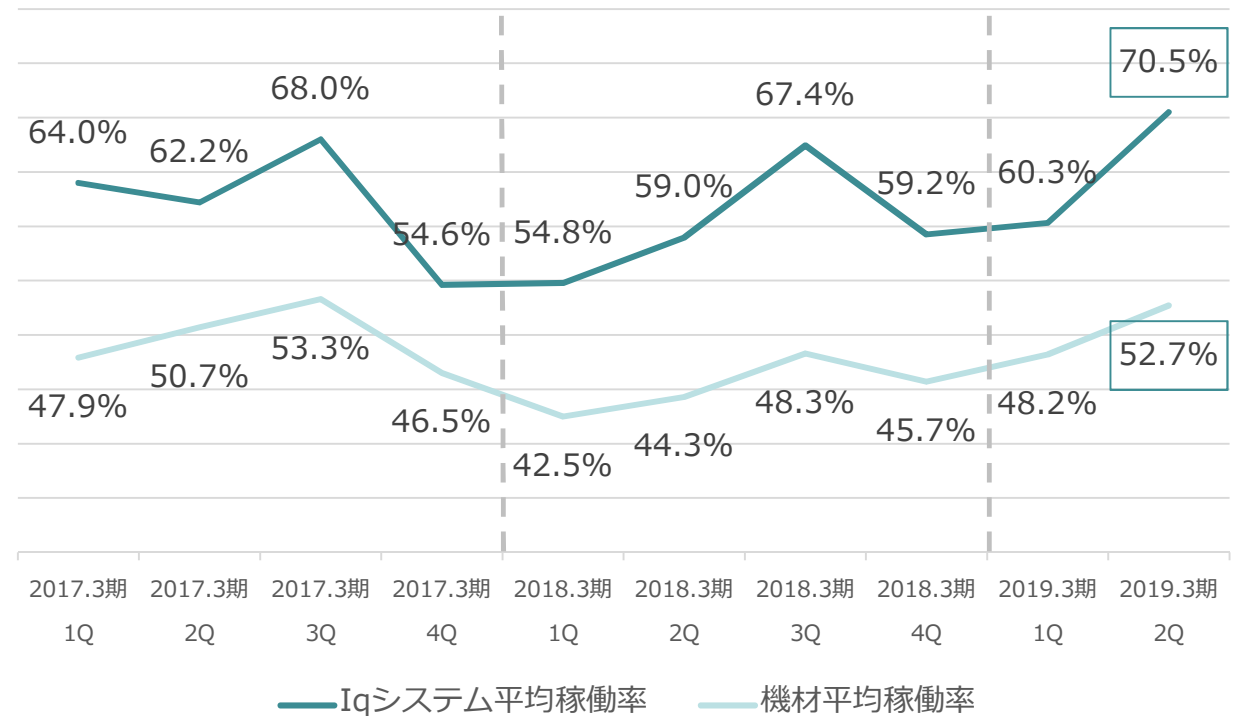
## 4. レンタル関連事業

### 4.2 機材平均稼働率推移

#### 機材運用効率化により高稼働を維持

土木関連の工事量が安定していることを背景に、土木機材の出荷量が前年対比で約40%増加、また枠組足場から次世代足場に切り替えたことにより、運用効率が高まり、高稼働を維持しています。

次世代足場需要に支えられ、Iqシステムは高い稼働を続けております。

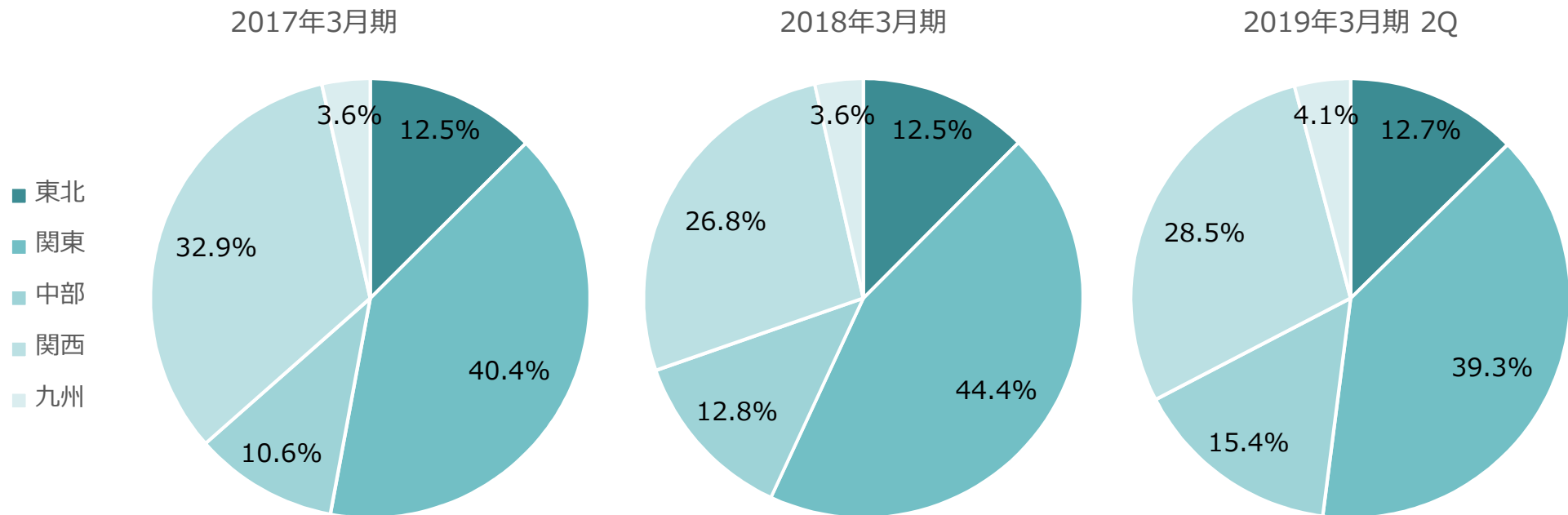




## 4. レンタル関連事業

### 4.3 ブロック別売上高比率

前年比増収した中で特に関西・中部は土木関連工事向けの売上高が増加しました。



※中四国ブロックは関西ブロックに含まれています。



## 5. 海外関連事業

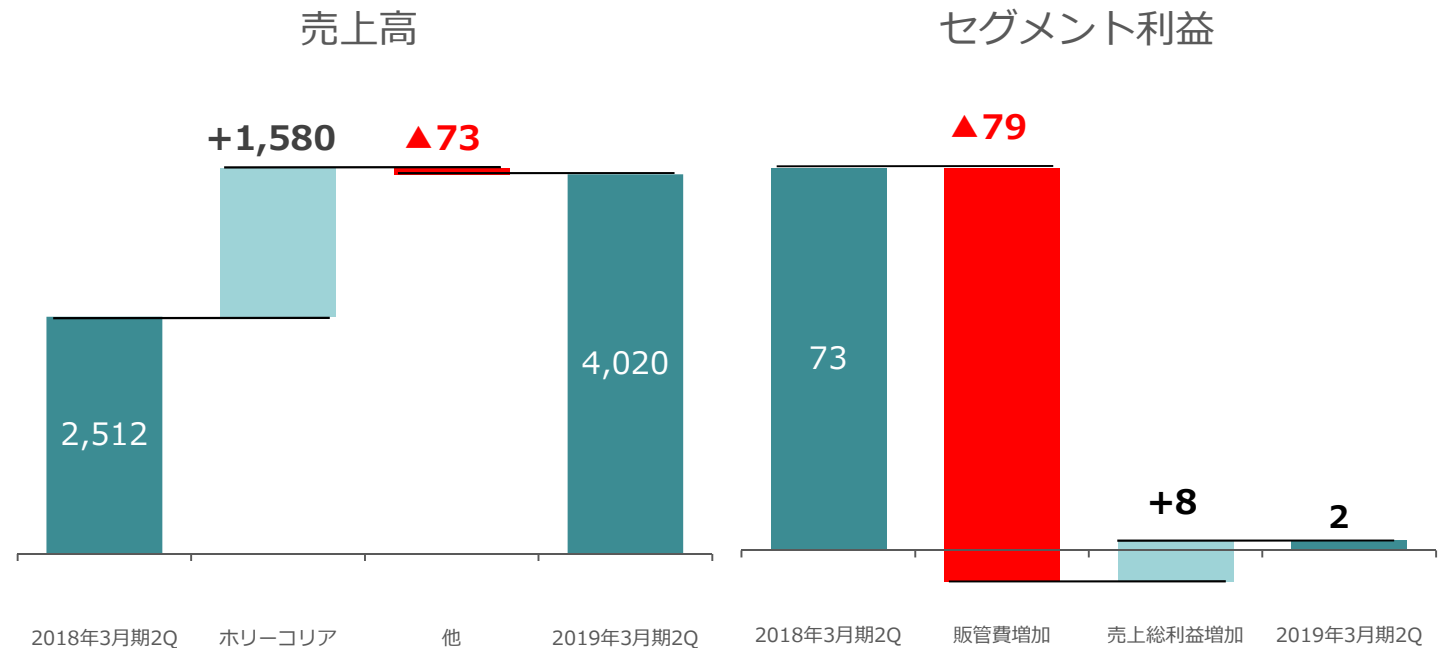
### 5.1 対前年同期比較

#### 売上高

1,507百万円増収。  
日本向けの輸出は減少しましたが、ホリーコアの太陽光架台販売の大型案件受注により増収となりました。

#### セグメント利益

70百万円減益。  
太陽光架台販売の大型案件の低粗利、フィリピンでの事業拡大に向けた積極的な賃貸資産の投資及び機材センター開設により、償却費や販管費が増加し減益となりました。



(単位：百万円)

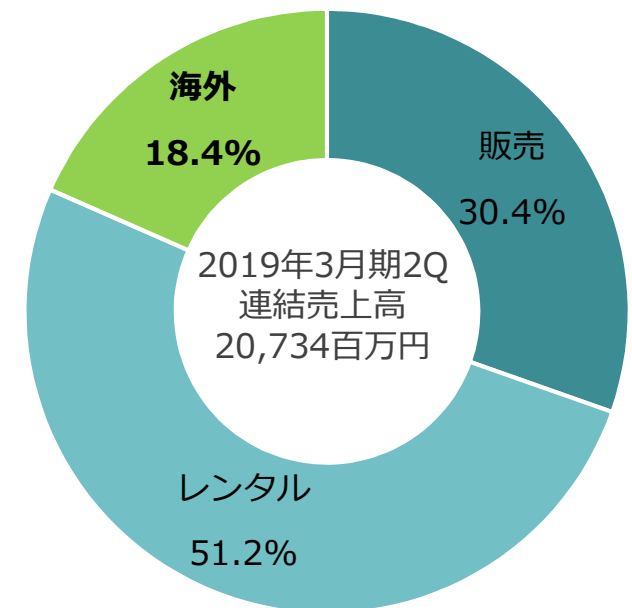
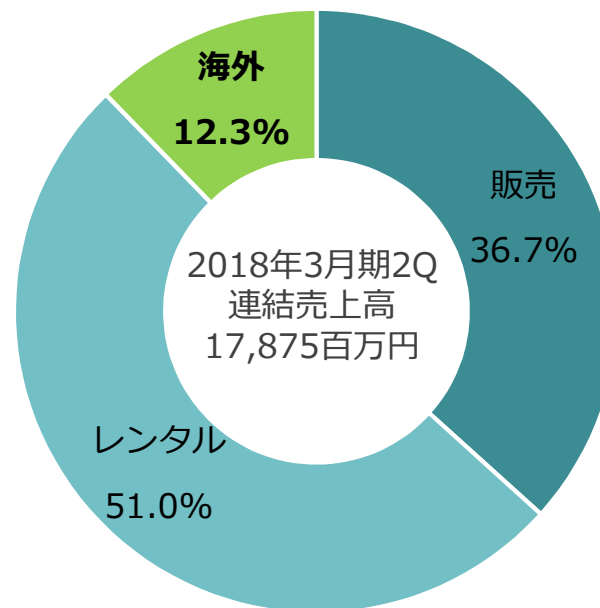
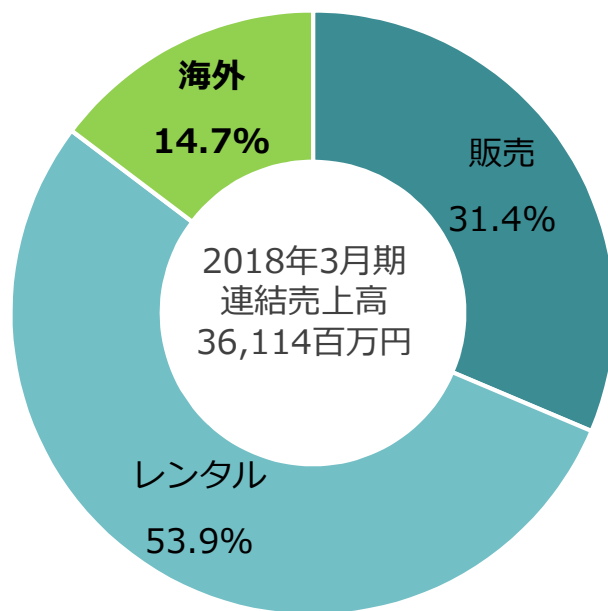
※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です。



## 5. 海外関連事業

### 5.2 セグメント別売上高比率

韓国子会社の増収により海外比率が増加、内部販売の減収により販売比率が減少しました。

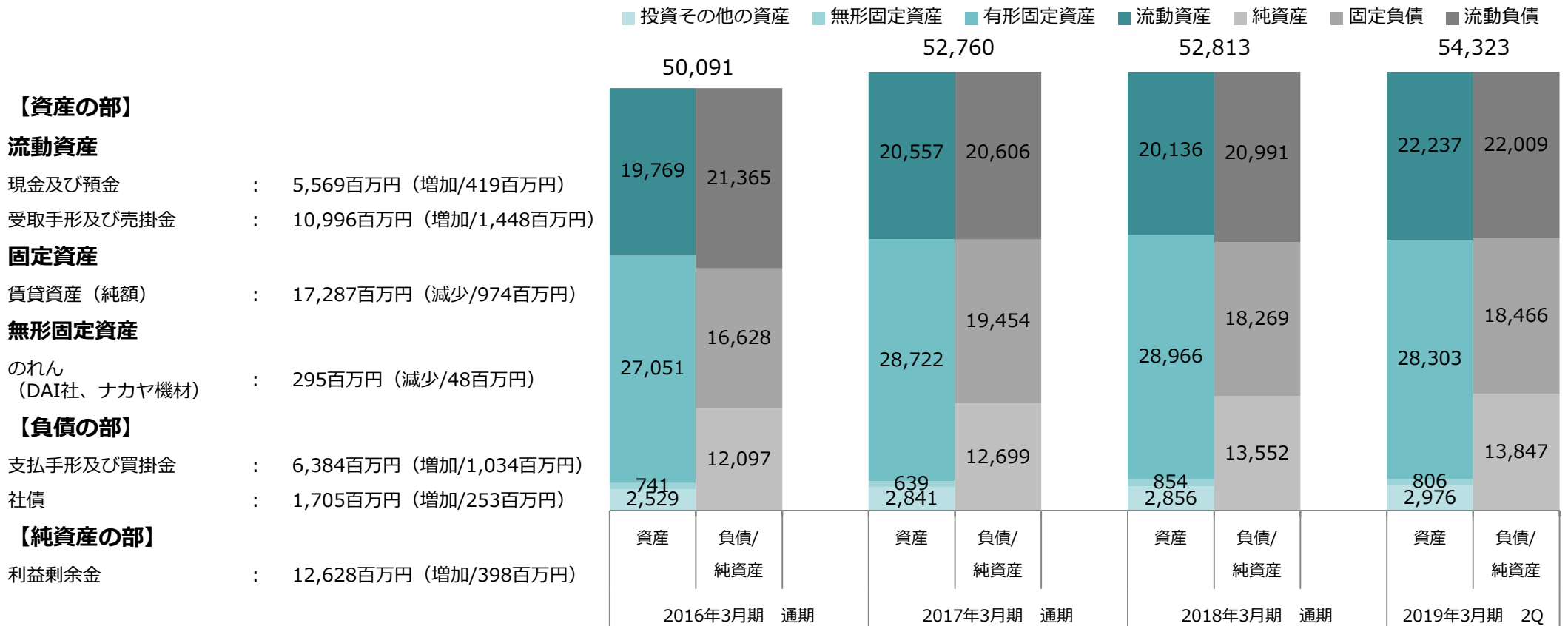


※「セグメント別売上高比率」はセグメント間消去前の売上高で算出しています。





## 6.連結貸借対照表





## 7. キャッシュフロー計算書

### 【営業キャッシュフロー】

税金等調整前四半期純利益	:	1,120百万円 (増加/281百万円)
減価償却費	:	2,361百万円 (増加/42百万円)
賃貸資産の取得による支出	:	△870百万円 (減少/209百万円)
売上債権の増減額 (△: 増加)	:	△1,461百万円 (増加/2,439百万円)
たな卸資産の増減額 (△: 増加)	:	△1,014百万円 (減少/487百万円)
仕入債務の増減額 (△: 増加)	:	1,033百万円 (増加/1,271百万円)

### 【投資キャッシュフロー】

有形固定資産の取得による支出	:	△520百万円 (増加/94百万円)
----------------	---	--------------------

### 【財務キャッシュフロー】

短期借入金純増額 (△: 減少)	:	△133百万円 (減少/1,102百万円)
長期借入れによる収入	:	3,252百万円 (増加/1,739百万円)
長期借入金の返済による支出	:	△3,144百万円 (増加/222百万円)

※ ( ) 内は前年同期比です。

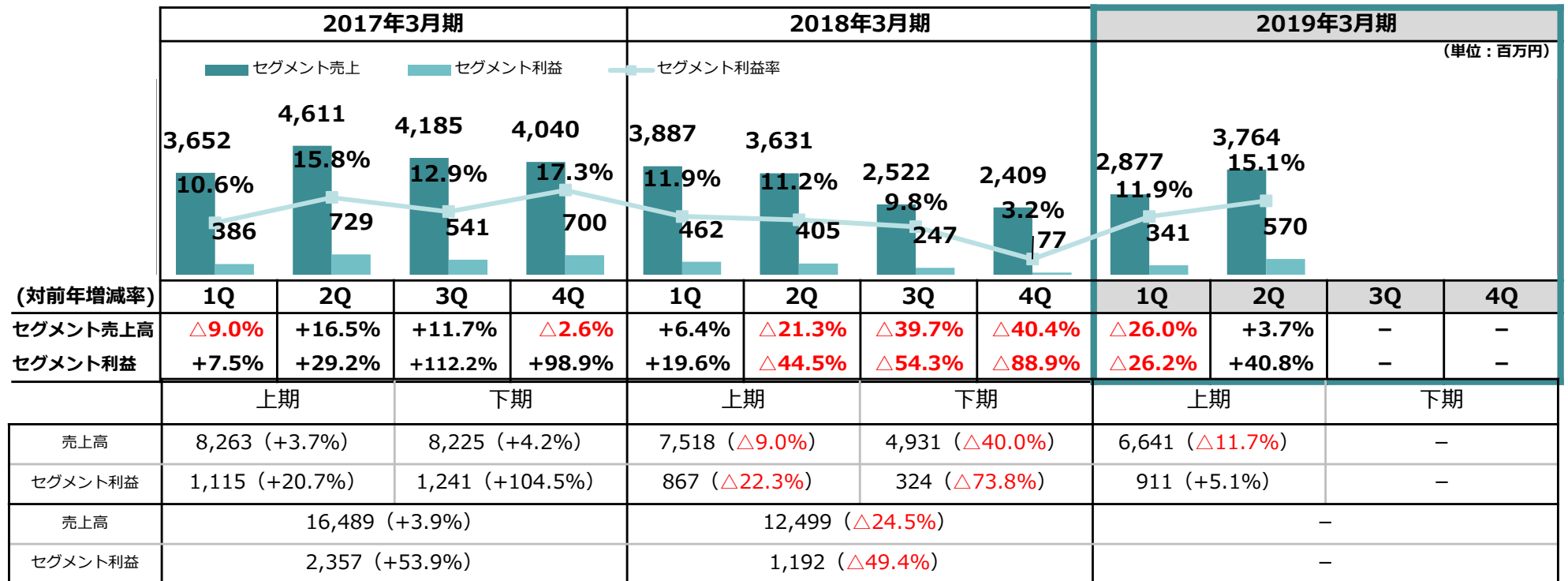
(単位: 百万円)

	2018年3月期2Q	2019年3月期2Q
税金等調整前当期純利益	838	1,120
営業キャッシュフロー小計	535	1,172
投資キャッシュフロー小計	△817	△570
財務キャッシュフロー小計	△863	△172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,172	419
現金及び現金同等物の期首残高	5,187	4,750
現金及び現金同等物の期末残高	4,015	5,169



## 8. 3力年業績

### 8.1 販売関連事業



※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です



## 8. 3力年業績

### 8.2 レンタル関連事業

	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(対前年増減率)												
セグメント売上高	+11.6%	+7.9%	+13.5%	+0.8%	+4.4%	△5.6%	△9.1%	△3.2%	+0.9%	+13.0%	-	-
セグメント利益	+44.0%	△9.1%	△4.2%	△54.0%	△50.1%	△39.2%	△20.5%	+16.2%	+41.3%	+51.6%	-	-
	上期	下期			上期	下期			上期	下期		
売上高	10,549 (+9.6%)	11,663 (+7.1%)			10,458 (△0.9%)	10,923 (△6.4%)			11,187 (+7.0%)	-		
セグメント利益	1,056 (+4.7%)	1,211 (△28.9%)			600 (△43.1%)	1,105 (△8.8%)			891 (+48.4%)	-		
売上高	22,213 (+8.3%)				21,382 (△3.7%)				-			
セグメント利益	2,267 (△16.4%)				1,705 (△24.8%)				-			

※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です



## 8. 3力年業績

### 8.3 海外関連事業

	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期			
	セグメント売上				セグメント利益				セグメント利益率			
									(単位: 百万円)			
	1,006	930	997	1,263	1,123	1,389	1,405	1,913	1,991	2,028		
	△2.5%	△8.2%	△3.2%	△4.5%	△0.4%	5.6%	0.4%	3.7%	△1.5%	1.6%		
	△25	△76	△31	△56	△4	78	5	70	△30	33		
(対前年増減率)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
セグメント売上高	△11.9%	△19.9%	△25.1%	+8.0%	+11.6%	+49.2%	+40.9%	+51.5%	+77.2%	+46.1%	-	-
セグメント利益	△204.5%	△3,216.5%	△142.9%	△167.0%	+80.4%	+202.4%	+117.9%	+225.4%	△850.0%	△57.4%	-	-
	上期		下期		上期		下期		上期		下期	
売上高	1,937 (△15.9%)		2,260 (△9.6%)		2,512 (+29.7%)		3,319 (+46.8%)		4,020 (+60.0%)		-	
セグメント利益	△101 (△571.3%)		△88 (△155.7%)		73 (+172.3%)		76 (+186.4%)		3 (△96.0%)		-	
売上高	4,198 (△12.7%)				5,832 (+38.9%)				-			
セグメント利益	△189 (△205.4%)				149 (+178.8%)				-			

※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です



## 9. 2019年3月期 業績予想

販売・レンタル・海外、全事業セグメントが堅調、下期も問題なく推移すると拝察していますが、人手や資材の不足、災害などにより工事が遅れ、出荷が停滞する可能性を考慮し通期予想は修正しておりません。

(単位：百万円)	2019年3月期				(ご参考) 2018年3月期 実績
	第2四半期 実績	前年同期比	通期 予想	前年同期比	
売上高	20,734	+16.0%	41,000	+13.5%	36,114
営業利益	1,087	+35.1%	2,500	+47.8%	1,690
経常利益	1,121	+33.3%	2,230	+38.5%	1,610
親会社株主に帰属する 当期純利益	698	+14.9%	1,333	+6.5%	1,252
1株当たり当期純利益	16.31円		31.11円		29.26円



## 10. 株主還元の様況

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期予想	2019年3月期予想
<b>配当金</b>	<b>10円</b>	<b>10円</b>	<b>11円</b>	<b>11円</b>
内訳) 1Q	-	-	-	-
2Q	3.5円	3.5円	4.0円	4.0円
3Q	-	-	-	-
4Q	6.5円	6.5円	7.0円	7.0円
配当金額総額	442百万円	428百万円	471百万円	-
配当性向	20.8%	28.5%	37.6%	35.4%
自社株買い	702百万円	529百万円	0百万円	-
総還元性向	53.1%	63.2%	37.6%	-
ROE	18.5%	12.6%	9.8%	-



# 今後の見通しと戦略

2018/11/21

エスアールジータカミヤ株式会社  
〒530-0011  
大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階





# 1. 中期経営計画

## 1.1 ビジョン・定量目標

ビジョン

トランスフォームにより新たな価値を創造し、  
業界の質的发展を牽引する企業グループを目指す

売上高目標

21.3期 連結売上高 500億円

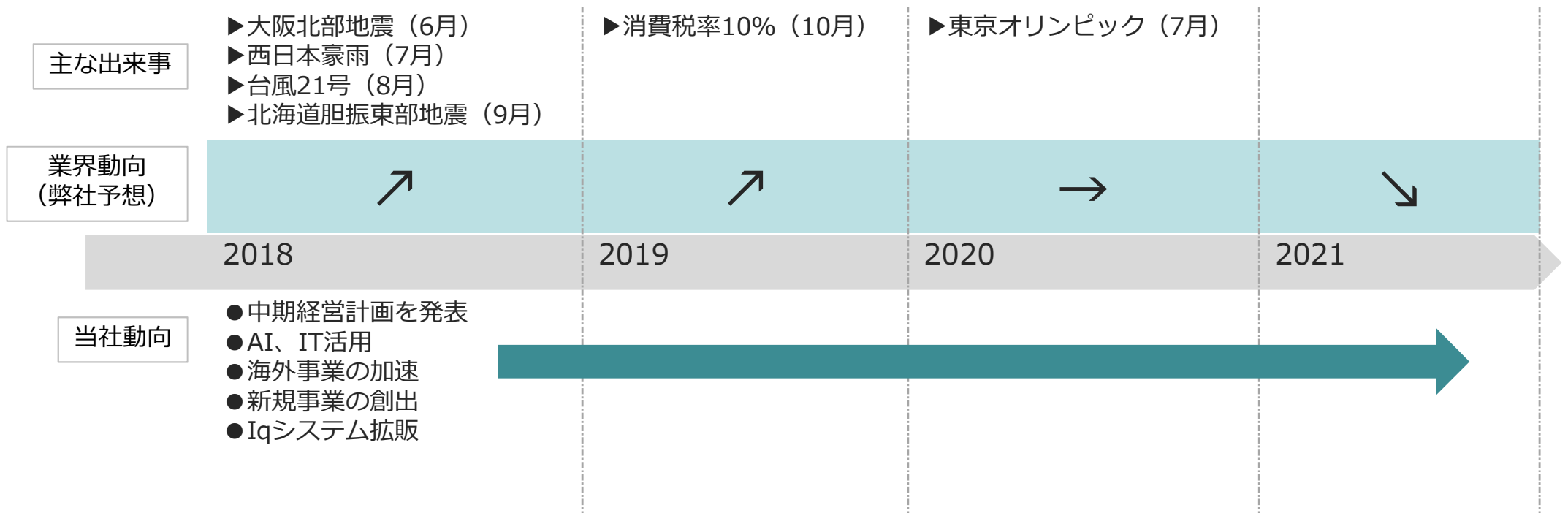
利益目標

21.3期 連結営業利益 40億円



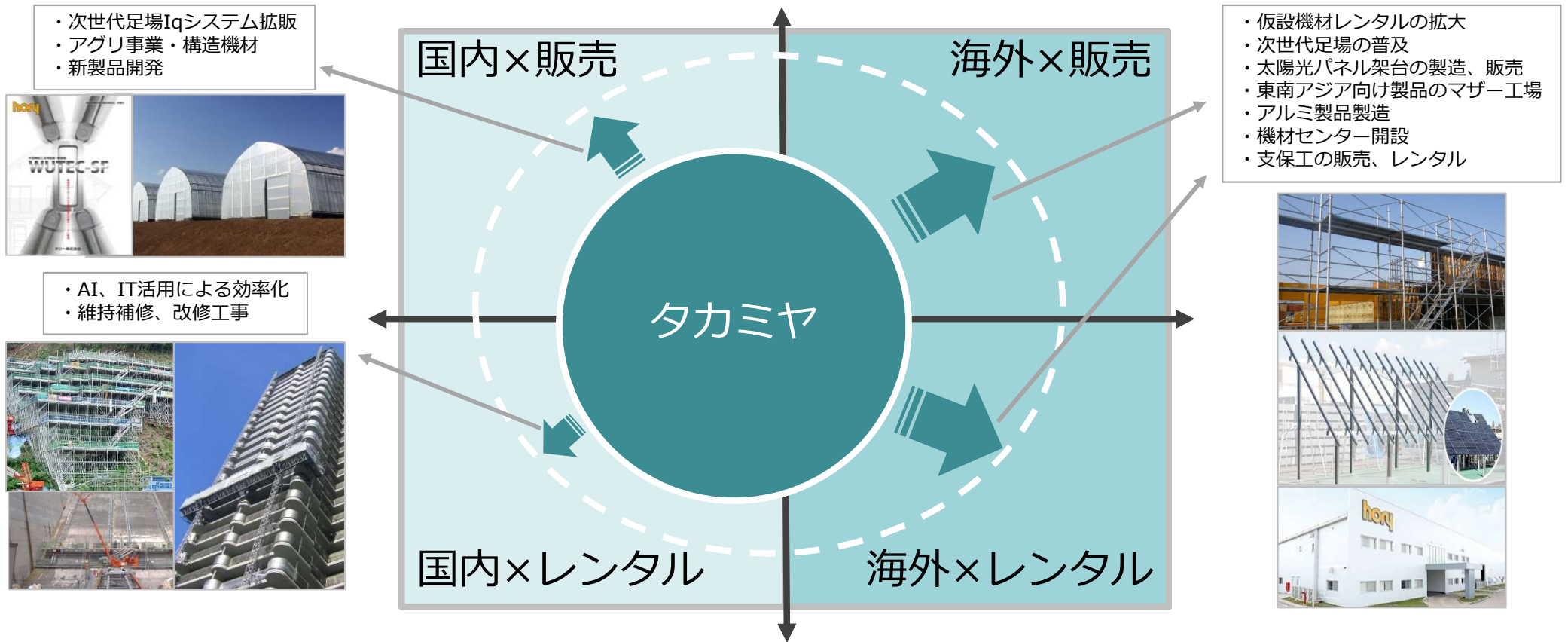
## 2. 今後の見通し

国内では投資を抑え運用効率を上げることで収益を増やし、新規事業や海外事業の強化を進めてまいります。



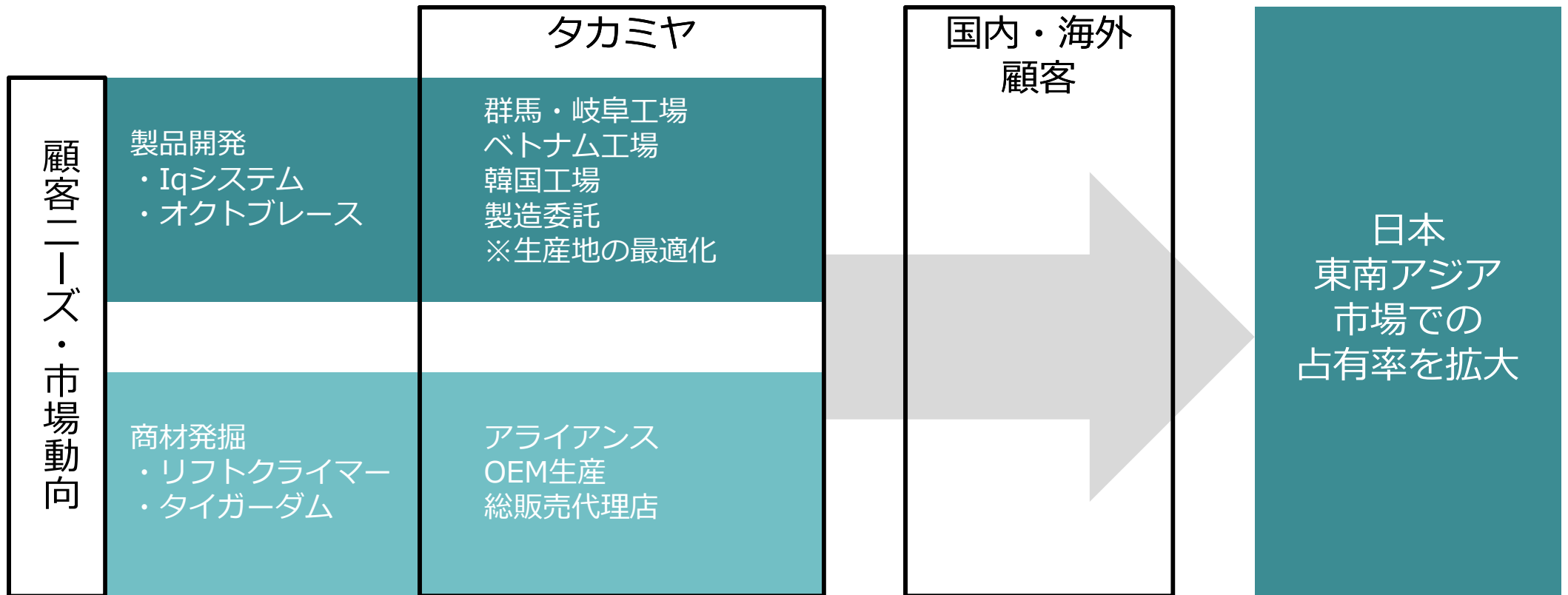


### 3. 経営戦略イメージ





### 3. 経営戦略イメージ





### 3. 経営戦略イメージ

タカミヤ  
ブランド



レンタル事業で市場へ先行投入  
ベトナム・韓国・フィリピンで実施



追って、販売事業で  
市場へ製品を供給

東南アジア  
市場での  
当社製品の  
占有率を拡大



## 4. 今後の見通しと方針

販売	<p>枠組足場から次世代足場への入替え需要を取り込む（3年で約110億円の販売目標）</p> <p>アグリ事業、構造機材事業の確立、新製品開発、新規事業の創出</p>
レンタル	<p>AI・ITを活用、運用効率・精度の向上（21.3期の機材平均稼働率を55.7%に）</p> <p>2020年以降の維持補修・改修工事への対応</p>
海外	<p>東南アジア向け製品生産拠点としての工場マザー化</p> <p>賃貸資産投資、機材センター開設により販路拡大</p> <p>仮設機材レンタル事業の拡大、次世代足場の普及</p>



## 参考資料

2018/11/21

エスアールジータカミヤ株式会社  
〒530-0011  
大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階



# 1. 販売関連事業 取扱機材

 <p>建設関連</p> <p>TOPクランプ 継手自在、専用自在</p> <p>TOPクランプ</p>	 <p>建設関連</p>	 <p>建設関連</p>	 <p>建設関連</p>
<p><b>継手 (クランプ)</b> あらゆる建設工事で使用する汎用部材</p>	<p><b>次世代足場 (Iqシステム)</b> 従来の枠組足場に換わる高性能の足場材</p>	<p><b>吊り足場 (スパイダーパネル)</b> 主に橋梁工事で使用される、チェーンで吊り下げる足場材</p>	<p><b>安全部材</b> 先行手すり、巾木、手すり部材など</p>
 <p>建材関連</p> <p>WUTEC-SF</p>	 <p>環境関連</p>	 <p>環境関連</p>	 <p>中古売却</p>
<p><b>木造住宅用制振装置</b> ホリー社オリジナル。新築、既築ともに対応</p>	<p><b>太陽光発電パネル架台</b> 住宅用、産業用のパネル架台の販売</p>	<p><b>農業用グリーンハウス</b> 農業用のパイプハウス、鉄骨製ハウス (グリーンハウス)</p>	<p><b>仮設機材</b> 新品、中古機材の仕入販売、賃貸資産の処分</p>





## 2. レンタル関連事業 対応工事分野



**建築（新築・維持補修）**  
ビル、マンション、学校、  
病院倉庫や商業施設等



**橋梁（新築・維持補修）**  
高速道路、鉄道、高架橋、  
橋等



**トンネル・地下工事**  
地下鉄、パイプライン、  
共同溝などシールド工事



**プラント**  
処理場・焼却炉、プラントの  
建設・メンテナンス等



**高層建物維持補修工事**  
超高層建物の維持補修・  
メンテナンス、解体等



**解体工事**  
立替え、補修にともなう、  
建造物の解体等



**斜面防災工事**  
地滑り、土砂災害を未然に  
防ぐ防災工事等



**港湾（防潮堤等）**  
高波、高潮、津波被害を防ぐ  
防潮堤の建設工事



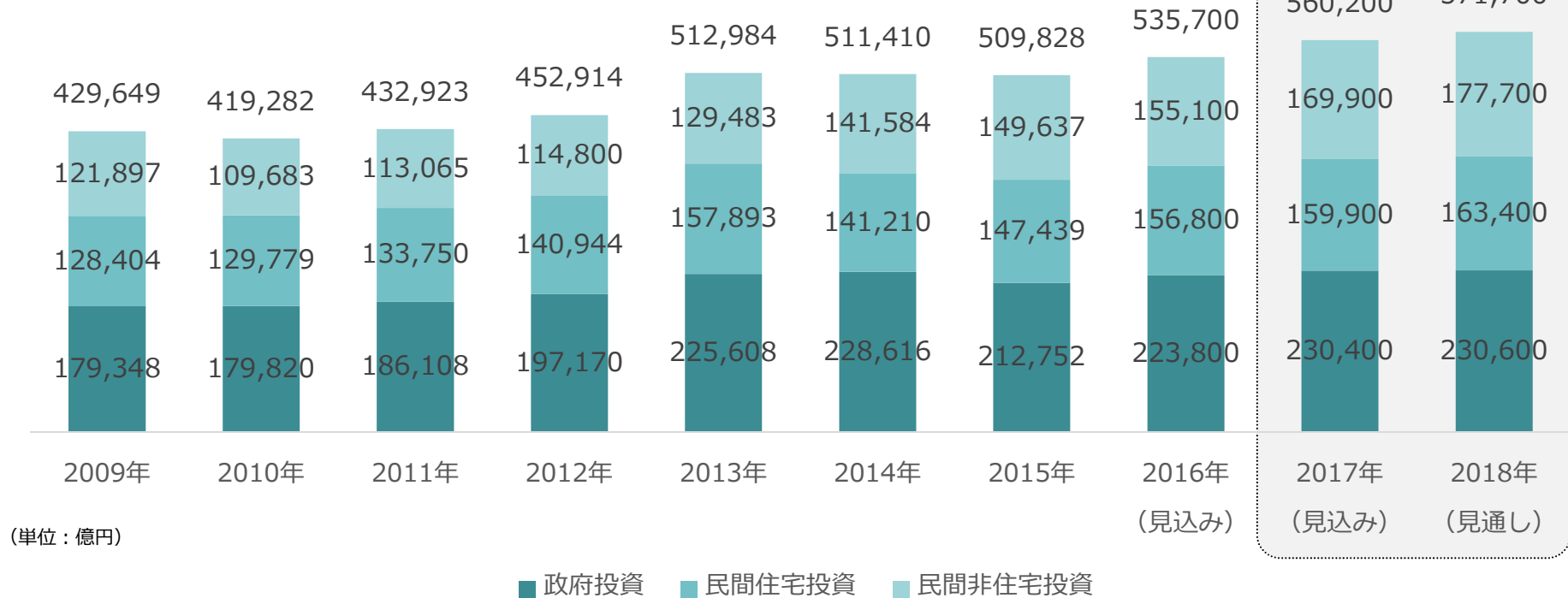
### 3. 海外関連事業 進出国と事業内容

ホリーコリア株式会社	ホリーベトナム有限会社	DIMENSION-ALL INC.
		<p style="text-align: right;">※フィリピン</p>  <p style="text-align: right;">※カランバヤード</p>
<p>建設用仮設機材や太陽光パネル設置架台の製造・販売・レンタルを行っており、太陽光パネル設置架台の需要が根強く続いています。</p>	<p>日本国内向けクランプや東南アジア向けクランプ、仮設機材の製造を行っています。汎用性の高い製品の開発製造体制を目指します。</p>	<p>建設用型枠・支保工の販売・レンタルを行っています。フィリピン国内にて旺盛な建設需要があり、非常に高い稼働率を誇っています。</p>



## 4. 国内建設投資額推移

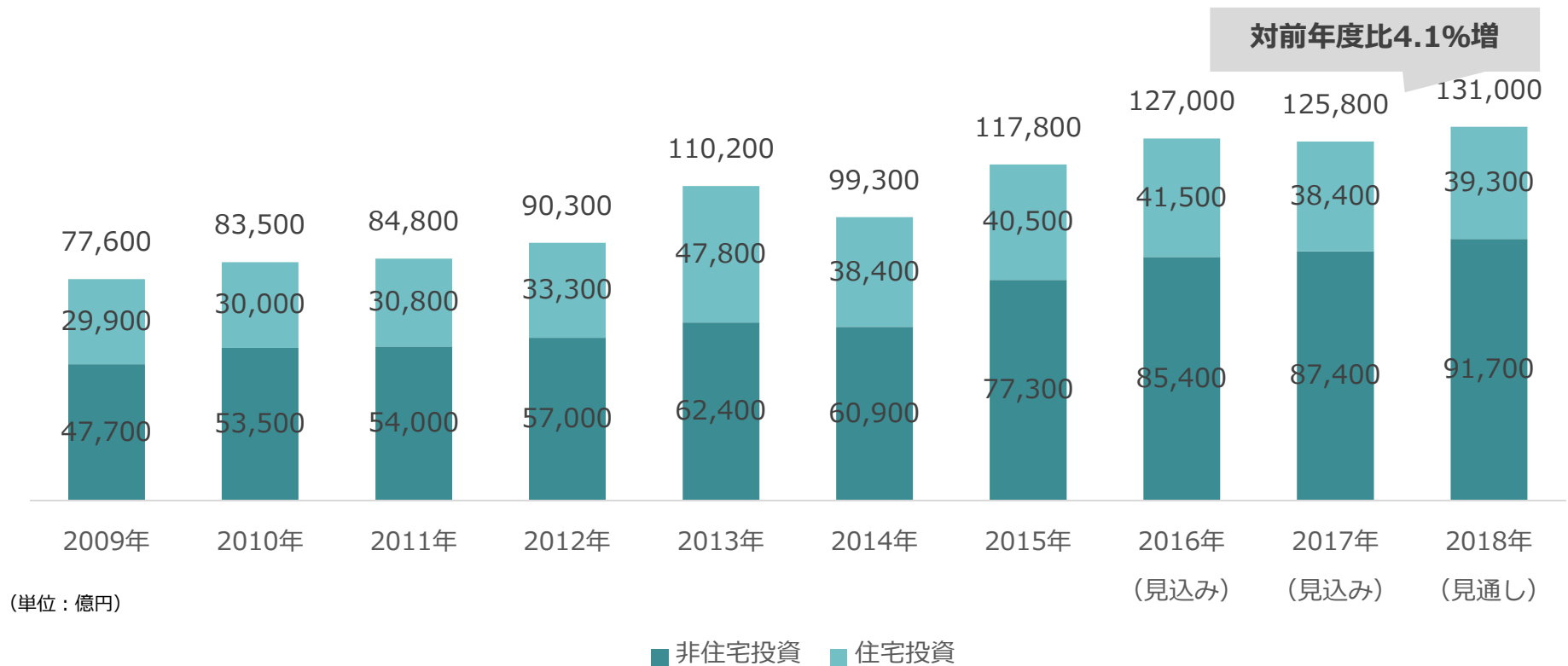
※建設経済研究所 2018年6月発表「建設経済モデルによる建設投資の見通し（2018年6月）」より作成





## 5. 国内建設物リフォーム・リニューアル投資額推移

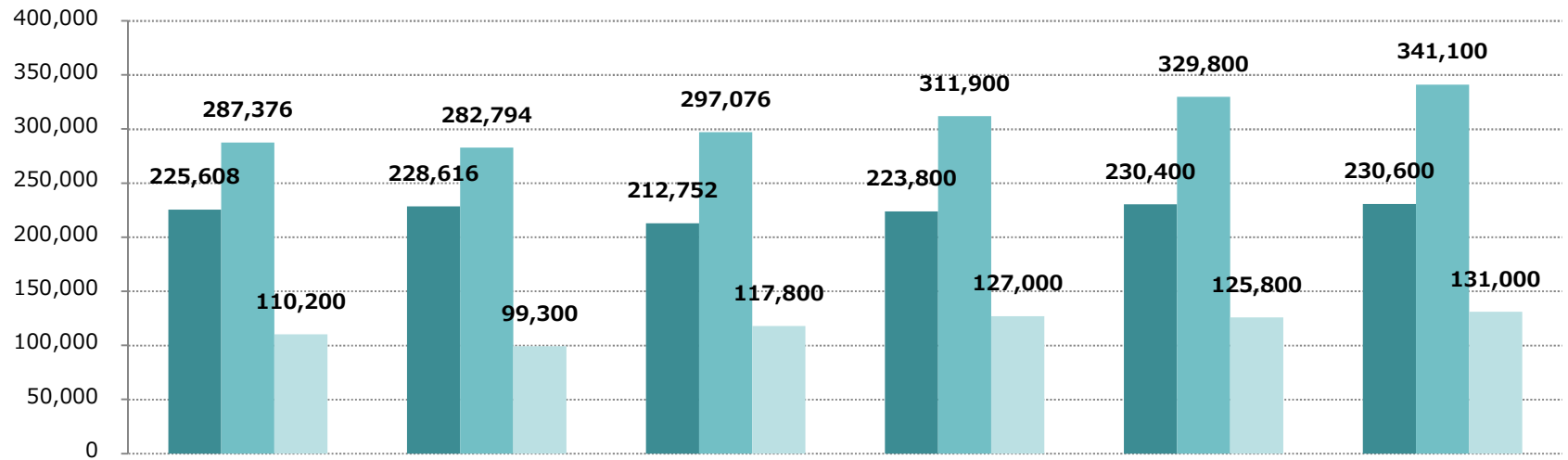
※国土交通省 2018年6月発表「平成30年度 建設通しの見通し」より作成





## 6. 国内建設投資の状況

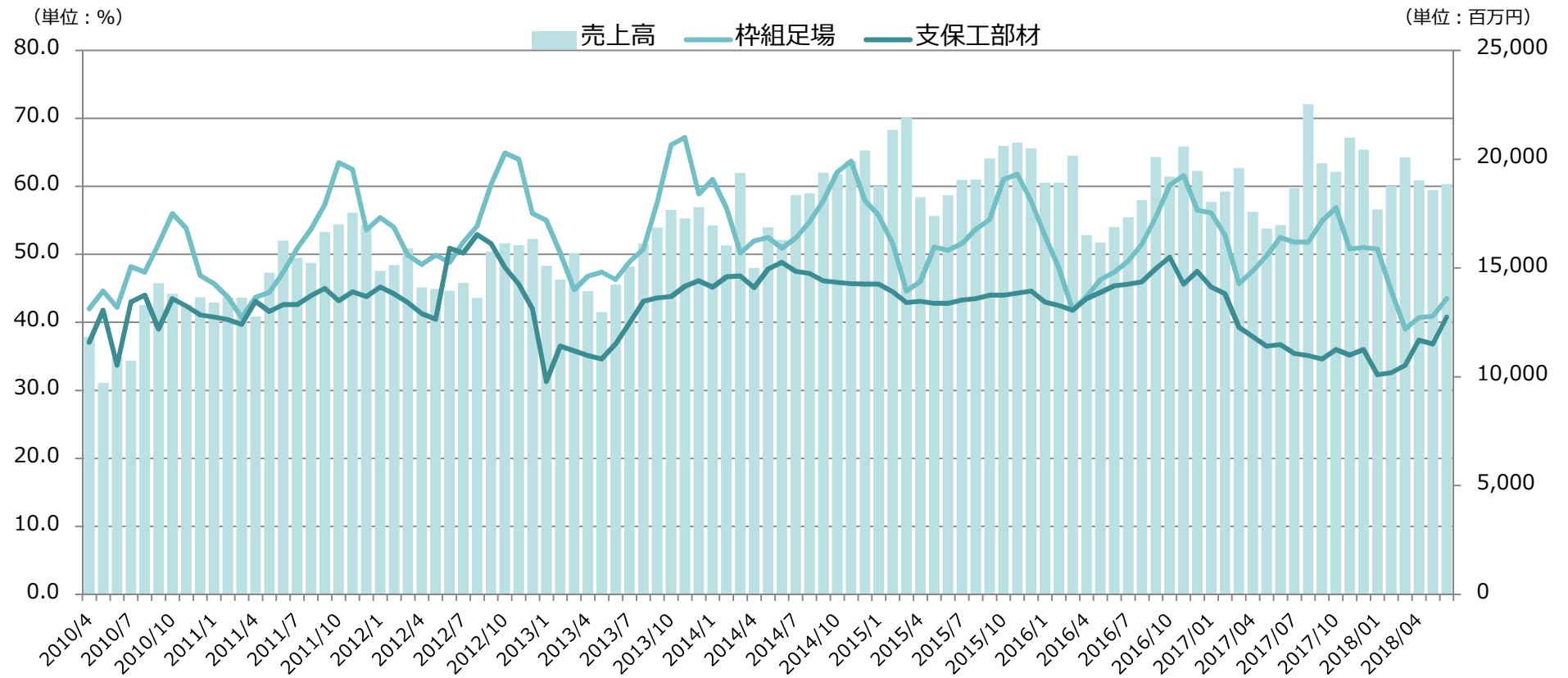
■ 建設投資額（政府） ■ 建設投資額（民間） ■ 建築物リフォーム・リニューアル投資 (単位：億円)



前年度比成長率	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 (見込み)	2017年度 (見込み)	2018年度 (見通し)
建設投資額（政府）	14.4%	1.3%	-6.9%	5.2%	2.9%	0.1%
建設投資額（民間）	12.4%	-1.6%	5.1%	5.0%	5.7%	3.4%
リフォーム・リニューアル投資	22.0%	-9.9%	18.6%	7.8%	-0.9%	4.1%



## 7. 軽仮設リース業50社の機材稼働率と売上高の推移

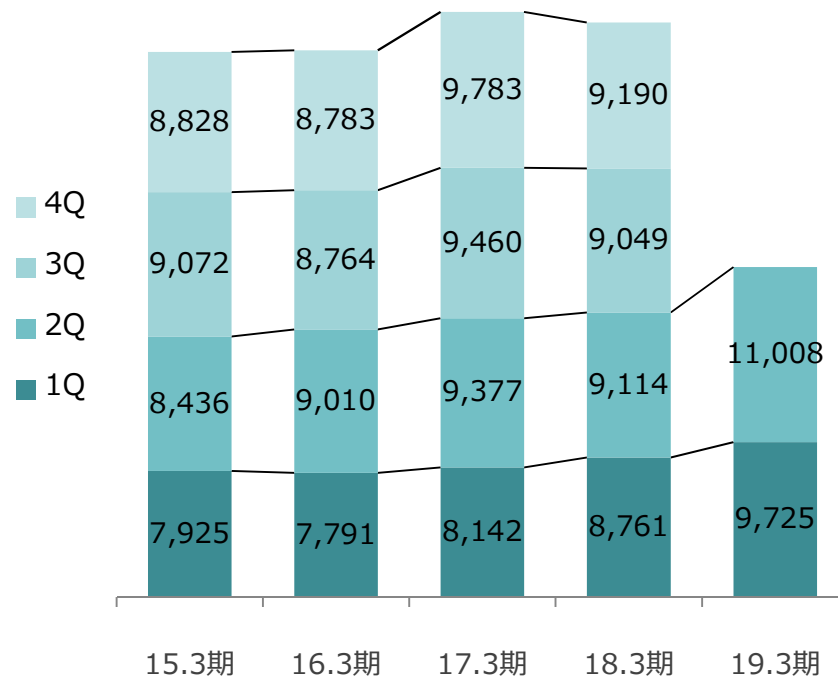


※出所：国土交通省「建設機械器具リース業等の動態調査時系列」を加工

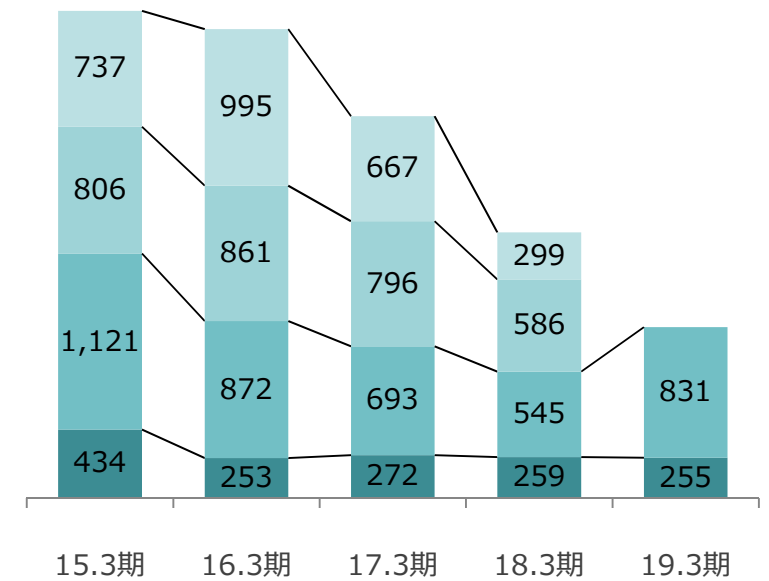


## 8. 業績の推移

### 売上高の推移



### 営業利益の推移





## 9. 海外市場推移

国名	(十億ドル) (百万人)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
日本	名目GDP	6,203	5,155	4,850	4,394	4,949	4,872	5,167	5,362	5,498	5,641
	人口	127	127	127	126	126	126	126	126	125	125
韓国	名目GDP	1,222	1,305	1,411	1,382	1,411	1,498	1,693	1,777	1,863	1,957
	人口	50	50	50	51	51	51	51	51	52	52
タイ	名目GDP	397	420	407	401	411	455	483	520	550	581
	人口	67	68	68	68	68	69	69	69	69	69
ベトナム	名目GDP	155	170	185	191	201	220	240	264	290	316
	人口	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97
フィリピン	名目GDP	250	271	284	292	304	313	332	355	392	430
	人口	96	98	99	101	103	105	107	109	111	113
シンガポール	名目GDP	290	304	311	304	309	323	349	367	385	401
	人口	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
マレーシア	名目GDP	314	323	338	296	296	314	364	402	439	478
	人口	29	30	30	31	31	32	32	32	33	33
ミャンマー	名目GDP	59	60	65	59	63	66	70	74	83	91
	人口	50	50	51	51	52	52	52	53	53	53
インドネシア	名目GDP	919	916	891	860	932	1,015	1,074	1,152	1,247	1,340
	人口	245	248	252	255	258	261	265	268	272	275

※出所：IMF “World Economic Outlook Database” より作成 / 着色セルは予測値





## 10. 連結業績の推移

	2008.3期	2009.3期	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期
売上高	15,129	15,338	14,530	17,490	23,201	28,113	32,443	34,261	34,350	36,763	36,114
売上高総利益	6,877	6,763	5,760	5,981	7,202	8,196	9,832	10,856	11,291	10,991	10,431
販管費	4,765	4,965	5,081	5,258	6,165	6,590	6,781	7,758	8,307	8,561	8,740
営業利益①	2,111	1,797	678	722	1,037	1,605	3,051	3,098	2,983	2,429	1,690
経常利益	1,950	1,605	607	621	1,080	1,553	3,006	3,325	2,731	2,337	1,610
親会社株主に帰属する 当期純利益	888	513	337	302	755	807	1,768	2,070	2,153	1,516	1,252
減価償却費(CF)②	2,307	2,487	2,602	2,745	3,088	3,280	3,369	3,649	4,137	4,502	4,662
EBITDA(①+②)	4,419	4,284	3,280	3,468	4,126	4,886	6,421	6,747	7,120	6,932	6,353
	2008.3期	2009.3期	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期
ROE (株主資本利益率)	17.7%	9.5%	6.1%	5.4%	12.7%	12.2%	21.5%	19.8%	18.5%	12.6%	9.8%
売上高純利益率	5.9%	3.3%	2.3%	1.7%	3.3%	2.9%	5.4%	6.0%	6.3%	4.1%	3.5%
総資産回転率	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7
ROA	8.5%	6.6%	2.4%	2.3%	3.5%	4.7%	8.4%	8.2%	5.8%	4.5%	3.1%

※ROE算出の際の株主資本は期初と期末の平均値を使用しています。



## 11. 貸借対照表の推移

	2008.3期	2009.3期	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期
流動資産	6,793	6,742	6,638	10,396	12,202	13,725	15,892	18,213	19,769	20,557	20,136
固定資産	16,766	18,215	18,644	19,198	20,269	20,262	21,353	25,307	30,321	32,203	32,677
流動負債	9,964	9,245	9,209	10,745	12,351	14,117	15,356	18,070	21,365	20,606	20,991
短期借入金	920	1,700	800	971	417	416	1,200	3,168	4,958	5,163	6,645
固定負債	8,174	10,169	10,394	13,110	13,740	12,760	12,130	13,687	16,628	19,454	18,269
長期借入金	5,348	7,006	8,187	9,862	10,036	9,637	9,376	10,913	13,304	15,403	13,653
純資産	5,421	5,543	5,679	5,738	6,380	7,110	9,758	11,762	12,097	12,699	13,552
総資産	23,559	24,958	25,283	29,594	32,472	33,987	37,245	43,520	50,091	52,760	52,813
	2008.3期	2009.3期	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期
流動比率	68.2%	72.9%	72.1%	96.8%	98.8%	97.2%	103.5%	100.8%	92.5%	99.8%	95.9%
固定比率	314.0%	335.0%	333.7%	339.9%	323.2%	291.7%	224.4%	221.0%	257.7%	261.0%	247.7%
自己資本比率	22.7%	21.8%	22.1%	19.1%	19.3%	20.4%	25.5%	26.3%	23.5%	23.4%	25.0%
D/Eレシオ	246.8%	284.9%	273.0%	306.1%	311.5%	279.0%	196.5%	188.9%	226.4%	237.4%	223.6%



## 12. セグメント別実績 四半期推移 会計期間

(単位：百万円)		2018年3月期				2019年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売 関連事業	セグメント売上高	3,887	3,631	2,522	2,409	2,877	3,764	-	-
	内、外部売上	2,804	2,902	2,531	2,428	2,853	3,702	-	-
	セグメント利益	462	404	247	77	341	570	-	-
	セグメント利益率	11.9%	11.1%	9.8%	3.2%	11.9%	15.1%	-	-
	(対前年増減率) セグメント売上高	+6.4%	△21.3%	△39.7%	△40.4%	△26.0%	+3.7%	-	-
	セグメント利益	+19.6%	△44.5%	△54.3%	△88.9%	△26.2%	+40.8%	-	-
レンタル 関連事業	セグメント売上高	5,230	5,228	5,610	5,312	5,279	5,908	-	-
	内、外部売上	5,177	5,178	5,581	5,289	5,253	5,831	-	-
	セグメント利益	188	412	654	451	265	625	-	-
	セグメント利益率	3.6%	7.9%	11.7%	8.5%	5.0%	10.6%	-	-
	(対前年増減率) セグメント売上高	+4.4%	△5.6%	△9.1%	△3.2%	+0.9%	+13.0%	-	-
	セグメント利益	△50.1%	△39.2%	△20.6%	+16.2%	+41.3%	+51.6%	-	-
海外 関連事業	セグメント売上高	1,123	1,388	1,405	1,913	1,991	2,028	-	-
	内、外部売上	778	1,033	935	1,472	1,599	1,493	-	-
	セグメント利益	△4	78	5	70	△30	33	-	-
	セグメント利益率	△0.4%	5.6%	0.4%	3.7%	△1.5%	1.6%	-	-
	(対前年増減率) セグメント売上高	+11.6%	+49.2%	+40.9%	+51.5%	+77.2%	+46.1%	-	-
	セグメント利益	-	-	-	-	-	△57.4%	-	-
	売上高合計	10,241	10,248	9,539	9,635	10,148	11,700	-	-
	内、外部売上	8,761	9,113	9,048	9,190	9,705	11,028	-	-

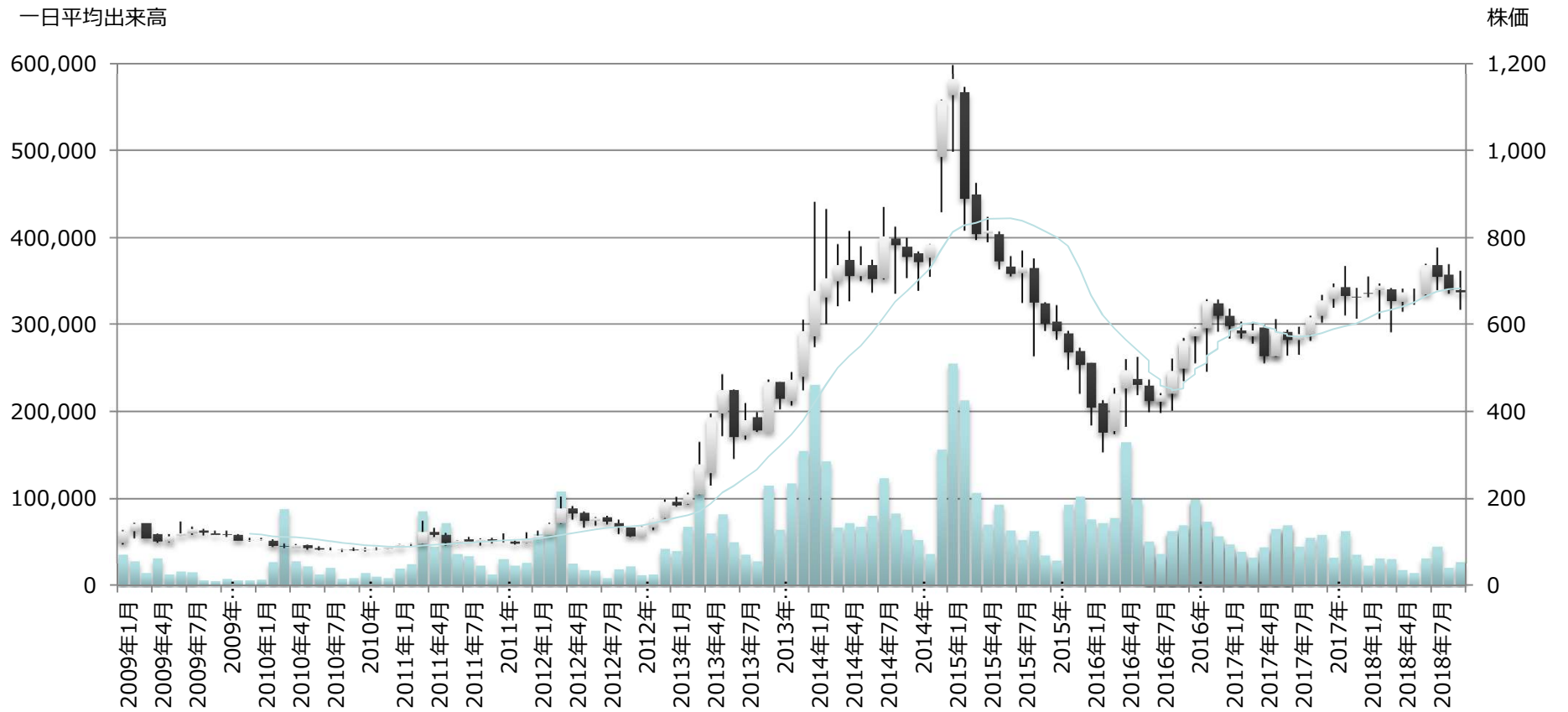


## 13. セグメント別実績 四半期推移 累計期間

(単位：百万円)		2018年3月期				2019年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売 関連事業	セグメント売上高	3,887	7,518	10,040	12,449	2,877	6,641	-	-
	内、外部売上	2,804	5,707	8,239	10,667	2,853	6,555	-	-
	セグメント利益	462	867	1,114	1,192	341	911	-	-
	セグメント利益率	11.9%	11.5%	11.1%	9.6%	11.9%	13.7%	-	-
	(対前年増減率) セグメント売上高	+6.4%	△9.0%	△19.3%	△24.5%	△26.0	△11.7	-	-
	セグメント利益	+19.6%	△22.3%	△32.7%	△49.4%	△26.2	+5.1	-	-
レンタル 関連事業	セグメント売上高	5,230	10,458	16,069	21,382	5,279	11,187	-	-
	内、外部売上	5,177	10,355	15,937	21,226	5,253	11,084	-	-
	セグメント利益	188	600	1,254	1,705	265	891	-	-
	セグメント利益率	3.6%	5.7%	7.8%	8.0%	5.0%	8.0%	-	-
	(対前年増減率) セグメント売上高	+4.4%	△0.9%	△3.9%	△3.7%	+0.9%	+7.0%	-	-
	セグメント利益	△50.1%	△43.1%	△33.2%	△24.8%	+41.3%	+48.4%	-	-
海外 関連事業	セグメント売上高	1,123	2,512	3,918	5,832	1,991	4,020	-	-
	内、外部売上	778	1,812	2,747	4,220	1,618	3,093	-	-
	セグメント利益	△4	73	78	149	△30	2	-	-
	セグメント利益率	△0.4%	2.9%	2.0%	2.6%	△1.5%	0.1%	-	-
	(対前年増減率) セグメント売上高	+11.6%	+29.7%	+33.5%	+38.9%	77.2%	60.0%	-	-
	セグメント利益	△80.5%	△172.3%	△159.3%	△179.0%	522.2%	△96.0%	-	-
売上高合計		10,241	20,489	30,028	39,664	10,148	21,849	-	-
内、外部売上		8,761	17,875	26,924	36,114	9,705	20,734	-	-



## 14. 2445.T SRGタカミヤ 株価推移





# IRコンタクト

社名 : エスアールジータカミヤ株式会社  
住所 : 〒530-0011  
大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪  
HP : <https://www.srg.jp/>  
IRサイト : <https://www.srg.jp/ir/>  
TEL : 06-6375-3918  
FAX : 06-6375-8827  
担当者 : 経営管理本部 広報IR室 川畑、森川

HP



IRサイト



本資料は、2019年3月期第2四半期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は一部を除き2018年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。



**SRG Takamiya**  
SUPER RENTAL GROUP